

しょうがく 2ねんせいのかんじじてん

こうたき かずお

あ

秋
兄
朝
当
新
後
会
明
姉
頭
岩

あき \ しゅう \ 秋^{あき}のうんこ。

あに \ にいさん \ 兄^{あに}がうんこをした。

あさ \ ちょう \ 朝^{あさ}のうんこ。 朝^{ちょう}食^{しょく}にうんこを。

あたる \ とう \ うんこがかべ^あに当たる。

あたらしい \ しん \ 新^{あた}しい:新^{しん}ぴんのうんこ。

あと \ うしろ \ うんこが後^{うしろ}にさがる。

あ; う \ かい \ おとまり会^{かい}でうんこをごはんにした。

あかるい \ めい \ 明^{あか}るいうんこ。 明^あけ方^{がた}のうんこ。

あね \ ねえさん \ 姉^{あね}のスカートにうんこがついた。

あたま \ とう \ ず \ 頭^{あたま}のうえにうんこをのせた。

いわ \ うんこを岩^{いわ}でつぶす。

間色歩合妹引市家行活池今言

あいだ\かん\ま\うんこの^{あいだ}間にはさまる。うんこの^{じかん}時間です。

いろ\うんこ^{いろ}色のえのぐでうんこのえをかこう。

あるく\ほ\ふ\うんこのむし^{ある}が歩く。

あう\ごう\がっ\うんことまぜ^あ合わせる。合同^{ごうどう}うんこ。うんこと^{がっ}合たいする。

いもうと\妹^{いもうと}のかおはうんこみたいだ。

いん\ひく\ひも^ひを引ながらうんこをもらす。

いち\し\市^{いち}ばにうんこというさかながうってあった。うってあった。

いえ\か\うんこでつくった^{いえ}家。

いく\ぎょう\うんこはどこかへ^い行った。

いきる\かつ\うんこがかいしゃに^{かつ}いって活やくする。

いけ\ち\池^{いけ}にうんこがおちた。

いま\こん\今^{いま}うんこはどこへいったかわからない。

いう\こと\げん\うんこのことを^い言う。

牛
歌
内
馬
海
後
雲
売
羽
か
画
絵
遠
園

うし \ ぎゅう \ ^{うし}牛のうんこはくさいくさい。

うた \ か \ ^{うた}歌を^{うた}歌ううんこ。

うち \ ない \ ^{うち}内がわにうんこをあつめる。

うま \ ば \ ^{うま}馬がはしりながらうんこをもらす。

うみ \ かい \ ^{うみ}海のなかでぼくがうんこをもらした。

うしろ \ あと \ うんこが^{うしろ}後にさがる。

うん \ くも \ ^{くも}雲のうんこはちっちゃいうんこ。

うる \ ばい \ うんこを^う売る。

う \ はね \ ^{はね}羽がはえたうんこがそらをとぶ。

えがく、か \ が \ くれよんでうんこのえを^{えが}画く。

え \ かい \ うんこいろの^え絵のぐ。

えん \ とおい \ ^{えん}遠そくで^{とお}遠いやまにのぼってうんこをもらした。

えん \ その \ ようち^{えん}園でぼくはうんこをもらした。

弟親科黄公教同思多体顔語歌

おとうと\弟^{おとうと}のはなみずといっしょにうんこがでてきた。

おや\しん\ぼく、うんこをもらして親^{おや}におこられた。

か\り科^かでうんこのじっけんをした。

おう\き\黄^きいろのうんこがでたからおいしやさんにみてもらおう。

おおやけ\こう\しゅじん公^{こう}がうんこをもらした。

おしえる\きょう\うんこのはなしをきょうおともだちに教^{おし}えた。

おなじ\どう\きょねんでたうんこと同^{おな}じかたちのうんこがでた。

おもう\し\うんこのことを思^{おも}う。

おおい\た\うんこは多^{おお}い。

かあだ\たい\体^{からだ}にうんこをつける。

かお\がん\顔^{かお}にうんこをぶつけた。

かたる\ご\えい語^ごでうんこといった。

か\うた\歌^{うた}を歌^{うた}ううんこ。

書考海数絵風夏形何刀方活角

かく \ しょ \ うんこともじを^か書く。

かんがえる \ こう \ うんこのさくぶんを^{かんが}考える。

かい \ うみ \ ^{うみ}海のなかでぼくがうんこをもらした。

かず \ かぞえる \ ^{かず かぞ}数を^え数えながらうんこをする。

かい \ え \ うんこいろの^え絵のぐ。

かぜ \ ふう \ ^{かぜ}風がふくところでうんこをする。

か \ なつ \ ^{なつ}夏はうんこジュースがいちばん。

かたち \ けい \ ^{かたち}しかくい形のうんこがでた。

か \ なに \ これは^{なん}何のうんこだろう。

かたな \ とう \ ^{かたな}刀でうんこをきる。

かた \ ほう \ ^{ほう}方がくがわからないときはうんこでつくったコンパスをつかおう。

かつ \ いきる \ うんこがかいしゃに^{かつ}いって活やくする。

かど \ かく \ ^{かど}角をまがりながらうんこをもらす。

角紙会買数家帰楽画回顔通汽

かく \ かど \ 角^{かど}をまがりながらうんこをもらす。

かみ \ し \ 紙^{かみ}でうんこをふく。

かい \ あ; う \ おとまり会^{かい}でうんこをごはんにした。

かう \ ばい \ うんこを^か買う。

かぞえる \ かず \ 数^{かず}を数^{かぞ}えながらうんこをする。

か \ いえ \ うんこでつくった^{いえ}家。

かえる \ き \ うんこをもらしながら^{かえ}うちへ帰る。

がく \ たのしい \ 楽^{たの}しくおどりながらうんこをもらした。

が \ えがく, か \ くれよんでうんこのえを^{えが}画く。

かい \ まわる \ わ \ うんこが^{まわ}回る。

がん \ かお \ 顔^{かお}にうんこをぶつけた。

かよう \ つう \ とおる \ すいみんぐすく一^{かよ}るに通いながらうんこをもらす。

きしゃ \ 汽^きしゃのなかでうんこをもらした。

母外間京記北教歸合聞切黄強

かあさん\はは\ぼ^{はは}\母はよくうんこをちょうしょくにする。

がい\そと\外^{そと}のすべりだいでうんこをもらしながらすべった。

かん\あいだ\ま\うんこの間^{あいだ}にはさまる。うんこの時間^{じかん}です。

きょう\けい\京^{きょう}とでうんこをもらした。

き\しるす\しんぶん記^きしゃがつくったにっ記^きにうんこがついてしまった。

きた\ほく\北^{きた}のほうがくがわからないからうんこをもらそう。

きょう\おしえる\うんこのはなしをきょうおともだちに^{おし}教えた。

き\かえる\うんこをもらしながらおうちへ^{かえ}帰る。

がっ\ごう\あう\うんことまぜ^あ合わせる。合同^{ごうどう}うんこ。うんこと合^{がっ}たいする。

きく\ぶん\しん聞^{ぶん}のはなしを聞き^きながらうんこをもらした。

きる\せつ\うんこをはさみで^き切る。

き\おう\黄^きいろのうんこがでたからおいしゃさんにみてもらおう。

きょう\つよい\うんこロボはとっても^{つよ}強い。

行牛魚来組国雲組首黒工来京

ぎょう \ いく \ うんこはどこかへ^い行った。

ぎゅう \ うし \ ^{うし}牛のうんこはくさいくさい。

ぎょ \ さかな \ ^{さかな}魚のうんこはほそながい。

き \ くる \ らい \ ぼくのうんこをみに^く来る。

くみ \ くむ \ うんこのプラモを^く組みたてる。

くに \ こく \ うんこおう^{こく}国にいてみたいな。

くも \ うん \ ^{くも}雲のうんこはちっちゃいうんこ。

くむ \ くみ \ うんこのプラモを^く組みたてる。

くび \ しゅ \ ^{くび}首のまわりにうんこをつけた。

くろ \ こく \ ^{くろ}黒いうんこがでた。

く \ こう \ ^{こう}工さくでうんこのロボットをつくった。

くる \ き \ らい \ ぼくのうんこをみに^く来る。

けい \ きょう \ ^{きょう}京とでうんこをもらした。

形計毛 さ 原元交工今古理国高米

けい \ かたち \ しかくい ^{かたち} 形のうんこがでた。

けい \ はかる \ うんこのおもさを ^{はか} 計る。

け \ もう \ かみの ^け 毛にうんこがついてとれなくなった。

げん \ はら \ の ^{はら} 原でうんこをもらしつづけた。

げん \ もと \ うんこの ^{もと} 元でじっけんしてみよう。

こう \ まじわる \ ^{こう} 交ばんにいるおまわりさんがうんこをもらした。

こう \ く \ ^{こう} 工さくでうんこのロボットをつくった。

こん \ いま \ ^{いま} 今うんこはどこへいったかわからない。

こ \ ふるい \ ^{ふる} 古いうんこはとってもくさい。

ことわり \ り \ なんでうんこの ^り 理ゆうをわたしはしらないのだろう。

こく \ くに \ うんこおう ^{こく} 国にいてみたいな。

こう \ たかい \ ^{たか} 高いところからバンジージャンプをしながらうんこをもらした。

こめ \ まい \ うんこのはたけでお ^{こめ} 米をそだてる。

近戸考黒答心声公広言午毎光

こん\ちかい\うんこが^{ちか}近いところにおちていた。

こ\と\^と戸だなにむかってうんこーとさけんだ。

こう\かんがえる\うんこのさくぶんを^{かんが}考える。

こく\くろ\^{くろ}黒いうんこがでた。

こたえる\とう\うんこのクイズに^{こた}答える。

こころ\しん\^{こころ}心のなかでうんこをかんがえる。

こえ\せい\^{こえ}声をあげてうんことさけんだ。

こう\おおやけ\しゅじん公^{こう}がうんこをもらした。

こう\ひろい\^{ひろ}広ばでうんこをもらした。

げん\こと\いう\うんこのことを^い言う。

ご\^ご午ごのうんこ。

ごと\まい\^{まい}毎にちうんこを30かいする。

こう\ひかる\ひかり\^{ひか}光っているうんこ。

語里算言才細合魚茶作週室社

ご\かたる\えい語^ごでうんこといった。

さと\うんこのなかに里^{さと}いもをいれた。

さん\算^{さん}すうで1+うんこといわれた。こたえはなんだ？

こと\いう\げん\うんこのことを^い言う。

さい\てん才^{さい}はかせがうんこロボをつくった。

さい\ほそい\細^{ほそ}いうんこがでた。

ごう\あう\がっ\うんことまぜ^あ合わせる。合同^{ごうどう}うんこ。うんこと^{がっ}合たいする。

さかな\ぎょ\魚^{さかな}のうんこはほそながい。

さ\ちゃ\茶^{ちゃ}つみをしながらはっぱにうんこをかけた。

さ\つくる\うんこを^{つく}作ろう。

しゅう\1週^{しゅう}かんのあいだでうんこのきろくは25こでした。

しつ\きょう室^{しつ}のなかでうんこをもらした。

しゃ\社^{しゃ}ちょうのなまえがうんこだった。

知新書首止思親春記心市紙食

しる \ ち \ うんこのことを^し知る。

しん \ あたらしい \ ^{あたら}新^{しん}しい:新ぴんのうんこ。

しょ \ かく \ うんこ^かもじを書^かく。

しゅ \ くび \ ^{くび}首のまわりにうんこをつけた。

し \ とめる \ うんこがはし^とっているところを止^とめる。

し \ おもう \ うんこのことを^{おも}思う。

しん \ おや \ ぼく, うんこをもらして^{おや}親におこられた。

しゅん \ はる \ ^{はる}春になったらうんこをもらす。なつになったらおしっこをもらす。

しるす \ き \ しんぶん^き記しゃがつくったに^きっ記にうんこがついてしまった。

しん \ ころ \ ^{ころ}心のなかでうんこをか^かんがえる。

し \ いち \ ^{いち}市ばにうんこというさかながうってあった。うってあった。

し \ かみ \ ^{かみ}紙でうんこをふく。

しょく \ たべる \ きゅう^{しょく}食^たを食べながらうんこをもらした。

少秋寺地場弱自少時線図星声

しょう\すくない\いっしゅうかんのうんこがとても^{すく}少なかった。きろくはたったの1こだ。

しゅう\あき^{あき}\秋のうんこ。

じ\てら\お寺^{てら}のおぼうさんがうんこをもらした。

じ\ち^じ\地めん^じにむかってうんこをブリッとした。

じょう\ば\やきゅう^{じょう}場でバッターがうんこをうった。

じゃく\よわい\弱^{よわ}いうんこがでた。

じ\みずから\自^じぶんのうんこを^{みずか}自らふんづけてしまった。

すくない\しょう\いっしゅうかんのうんこがとても^{すく}少なかった。きろくはたったの1こだ。

じ\と\とき\時^とけいがさん時^じになったらカッコーじゃなくてうんこがブリブリとなきがす。

せん\うんこでつくった線^{せん}のうえでつなわたりをする。

ず\と\図^としゃかんにうんこのほんがおちていた。

せい\ほし^{ほし}\星ぞらをみながらうんこをもらす。

せい\こえ^{こえ}\声^{こえ}をあげてうんことさけんだ。

切頭西雪 た前晴外園走樂食台谷

せつ \ きる \ うんこをはさみで^き切る。

ず \ とう \ あたま \ 頭^{あたま}のうえにうんこをのせた。

せい \ にし \ うんこでつくったコンパスが^{にし}西のほうかくをさす。

せつ \ ゆき \ 雪^{ゆき}がつもるとうんこもつもる。

ぜん \ まえ \ 前^{まえ}へすすむうんこ。

せい \ はれ \ はれる \ 晴^はれたらうんこをもらす。あめだったらおしっこをもらす。

そと \ がい \ 外^{そと}のすべりだいでうんこをもらしながらすべった。

その \ えん \ ようち^{えん}園でぼくはうんこをもらした。

そう \ はしる \ 走^{はし}りながらうんこをもらす。

たのしい \ がく \ 楽^{たの}しくおどりながらうんこをもらした。

たべる \ しょく \ きゅう^{しょく}食^たを食べながらうんこをもらした。

だい \ 台^{だい}からうんこのプールに入った。

たに \ や \ 谷^{たに}からおっこちてうんこをもらした。

多 太 高 体 地 近 茶 父 池 朝 知 鳥 直

た\おおい\うんこは多い。^{おお}

た\ふとい\太^{ふと}いうんこがでた。

たかい\こう\高^{たか}いところからバンジージャンプをしながらうんこをもらした。

たい\かあだ\体^{からだ}にうんこをつける。

ち\じ\地^じめんにむかってうんこをブリッとした。

ちかい\こん\うんこが近^{ちか}いところにおちていた。

ちゃ\さ\茶^{ちゃ}つみをしながらはっぱにうんこをかけた。

ちち\とう\父^{ちち}がうんこをもらした。

ち\いけ\池^{いけ}にうんこがおちた。

ちょう\あさ\朝^{あさ}のうんこ。朝^{ちょう}食^{しょく}にうんこを。

ち\しる\うんこのことを知^しる。

ちょう\とり\鳥^{とり}のうんこはまっしろ。

ちょく\なおす\こわれたうんこロボを直^{なお}す。

長作強点通点寺店電 な父答冬図

ちょう \ ながい \ きょうはほそ^{なが}長いうんこがでた。

つくる \ さ \ うんこを^{つく}作ろう。

つよい \ きょう \ うんこロボはとっても^{つよ}強い。

つける \ てん \ 100^{てん}点とったあと、ひを^つ点けてうんこをのせる。

つう \ かよう \ とおる \ すいみんぐすくーるに^{かよ}通いながらうんこをもらす。

てん \ つける \ 100^{てん}点とったあと、ひを^つ点けてうんこをのせる。

てら \ じ \ お^{てら}寺のおぼうさんがうんこをもらした。

てん \ みせ \ お^{みせ}店によったけど、おかねがたりなくてうんこがかえない。

でん \ 電^{でん}ちゅうの電^{でん}ちをまちがえてうんこにしまった。

とう \ ちち \ 父^{ちち}がうんこをもらした。

とう \ こたえる \ うんこのクイズに^{こた}答える。

とう \ ふゆ \ 冬^{ふゆ}になったらうんこをもらす。

と \ ず \ 図^としゃかんとうんこのほんがおちていた。

戸遠刀当鳥友東止鳴時通時道

と\こ\戸^とだなにむかってうんこーとさけんだ。

とおい\えん\遠^{えん}そくで遠^{とお}いやまにのぼってうんこをもらした。

とう\かたな\刀^{かたな}でうんこをきる。

とう\あたる\うんこがかべ^あに当たる。

とり\ちょう\鳥^{とり}のうんこはまっしろ。

とも\ゆう\友^{とも}だちといっしょにうんこをもらす。

とう\ひがし\ゆびで東^{ひがし}をさしながらうんこをもらす。

とめる\し\うんこがはしっているところを止^とめる。

なく\うんこがぶりぶりと鳴^なく。

とき\と\じ\時^とけいがさん時^じになったらカッコーじゃなくてうんこがブリブリとなきがす。

とおる\つう\かよう\すいみんぐすくーるに通^{かよ}いながらうんこをもらす。

と\とき\じ\時^とけいがさん時^じになったらカッコーじゃなくてうんこがブリブリとなきがす。

どう\みち\道^{みち}をあるきながらうんこをもらす。

同頭読長内直何夏肉南西兄 は姉

どう \ おなじ \ きょねんでたうんこと^{おな}同じかたちのうんこがでた。

とう \ あたま \ ず \ ^{あたま}頭のうえにうんこをのせた。

どく \ よむ \ うんこというほんを^{どく}読しよしながらうんこをもらす。

ながい \ ちょう \ きょうはほそ^{なが}長いうんこがでた。

ない \ うち \ ^{うち}内がわにうんこをあつめる。

なおす \ ちよく \ こわれたうんこロボを^{なお}直す。

なに \ か \ これは^{なん}何のうんこだらう。

なつ \ か \ ^{なつ}夏はうんこジュースがいちばん。

にく \ ^{にく}お肉がくさってうんこになった。

なん \ みなみ \ ^{みなみ}南のしまでうんこをもらした。

にし \ せい \ うんこでつくったコンパスが^{にし}西のほうがかくをさす。

にいさん \ ^{あに}あに \ 兄がうんこをした。

ねえさん \ ^{あね}あね \ 姉のスカートにうんこがついた。

野半計走羽春原番話買晴晴場

の\や\野^のはらでうんこみたいなのはなをみつけた。

はん\半^{はん}げつだったらうんこをもらす。

はかる\けい\うんこのおもさを^{はか}計る。

はしる\そう\走^{はし}りながらうんこをもらす。

はね\う\羽^{はね}がはえたうんこがそらをとぶ。

はる\しゅん\春^{はる}になったらうんこをもらす。なつになったらおしっこをもらす。

はら\げん\の^{はら}原でうんこをもらしつづけた。

ばん\あさいち^{ばん}番にうんこをもらした。

はなす\はなし\わ\うんこの^{はなし}話をする。

ばい\かう\うんこを^か買う。

はれる\はれ\せい\晴^はれたらうんこをもらす。あめだったらおしっこをもらす。

はれ\はれる\せい\晴^はれたらうんこをもらす。あめだったらおしっこをもらす。

ば\じょう\やきゅう^{じょう}場でバッターがうんこをうった。

母馬売話昼東引広光光船冬風

はは\ かあさん\ ぼ^{はは}\ 母はよくうんこをちょうしょくにする。

ば\ うま^{うま}\ 馬がはしりながらうんこをもらす。

ばい\ うる\ うんこを^う売る。

はなし\ はなす\ わ\ うんこの^{はなし}話をする。

ひる\ きょうの^{ひる}昼ごはんはうんこだ。

ひがし\ とう\ ゆびで^{ひがし}東をさしながらうんこをもらす。

ひく\ いん\ ひもを^ひ引ながらうんこをもらす。

ひろい\ こう\ ^{ひろ}広ばでうんこをもらした。

ひかり\ ひかる\ こう\ ^{ひか}光っているうんこ。

ひかる\ ひかり\ こう\ ^{ひか}光っているうんこ。

ふね^{ふね}\ 船にのりながらうんこをもらした。

ふゆ\ とう\ ^{ふゆ}冬になったらうんこをもらす。

ふう\ かぜ^{かぜ}\ 風がふくところでうんこをする。

古
太
分
歩
聞
北
方
星
ま
細
歩
母
丸
万

ふるい \ こ \ 古^{ふる}いうんこはとってもくさい。

ふとい \ た \ 太^{ふと}いうんこがでた。

ふん \ わける \ みんなでうんこを^わ分ける。

ふ \ ほ \ あるく \ うんこのむし^{ある}が歩く。

ぶん \ きく \ しん^{ぶん}聞のはなしを^き聞きながらうんこをもらした。

ほく \ きた \ 北^{きた}のほう^{ほう}がくがわからないからうんこをもらそう。

ほう \ かた \ 方^{ほう}がくがわからないときはうんこでつくったコンパスをつかおう。

ほし \ せい \ 星^{ほし}ぞらをみながらうんこをもらす。

ほそい \ さい \ 細^{ほそ}いうんこがでた。

ほ \ あるく \ ふ \ うんこのむし^{ある}が歩く。

ぼ \ かあさん \ はは \ 母^{はは}はよくうんこをちょうしょくにする。

まるい \ ん \ 丸^{まる}いうんこがでた。

まん \ きんいろのうんこをみつけた。それはいち^{まん}万えんのかちがある。

前 毎 交 米 間 店 道 南 回 麦 自 明 や 門

まえ \ ぜん \ 前^{まえ}へすすむうんこ。

まい \ ごと \ 毎^{まい}にちうんこを30かいする。

まじわる \ こう \ 交^{こう}ばんにいるおまわりさんがうんこをもらした。

まい \ こめ \ うんこのはたけでお米^{こめ}をそだてる。

ま \ かん \ あいだ \ うんこの間^{あいだ}にはさまる。うんこの時間^{じ かん}です。

みせ \ てん \ お店^{みせ}によったけど、おかねがたりなくてうんこがかえない。

みち \ どう \ 道^{みち}をあるきながらうんこをもらす。

みなみ \ なん \ 南^{みなみ}のしまでうんこをもらした。

まわる \ かい \ わ \ うんこが回^{まわ}る。

むぎ \ 麦^{むぎ}わらぼうしのうちがわにうんこをいれる。

みずから \ じ \ 自^じぶんのうんこを自^{みずか}らふんづけてしまった。

めい \ あかるい \ 明^{あか}るいうんこ。明^{あ がた}け方のうんこ。

もん \ とびらの門^{もん}があかなくなったから、うんこのかぎであけよう。

毛用元矢野夜谷弓 ら友雪曜読夜

もう\け\かみの毛^けにうんこがついてとれなくなった。

もちいる\よう\うんこの用^{よう}じがあるから、きょうはあそぶのはやめておくよ。

もと\げん\うんこの元^{もと}でじっけんしてみよう。

や\ゆみ^や矢をうって、うんこにあたった。

や\の^の野はらでうんこみたいなはなをみつけた。

や\よる^{よる}夜のかえりみち、うんこのでんきをつかおう。

や\たに^{たに}谷からおっこちてうんこをもらした。

ゆみ\うんこついた弓^{ゆみ}やせつとをかった。

ゆう\とも^{とも}友だちといっしょにうんこをもらす。

ゆき\せつ^{ゆき}雪がつもるとうんこもつもる。

よう\か曜^{よう}びになったらうんこをする。

よむ\どく^{どく}うんこというほんを読^{どく}しよしながらうんこをもらす。

よる\や^{よる}夜のかえりみち、うんこのでんきをつかおう。

用弱来理 わ 分回話

よう \ もちいる \ うんこの^{よう}用じがあるから、きょうはあそぶのはやめておくよ。

よわい \ じゃく \ ^{よわ}弱いうんこがでた。

らい \ き \ くる \ ぼくのうんこをみに^く来る。

り \ ことわり \ なんでうんこの^り理ゆうをわたしはしらないのだろう。

わける \ ふん \ みんなでうんこを^わ分ける。

わ \ まわる \ かい \ うんこが^{まわ}回る。

わ \ はなす \ はなし \ うんこの^{はなし}話をする。